

**(仮称)青森市子ども総合プラン策定にかかる  
アンケート調査結果報告書  
＜⑤ 地域・子ども関連団体＞**

**令和6年3月  
福祉部 子育て支援課**

# 目 次

1 調査の概要	
調査の概要	1
調査区域表	2
調査票の回収結果	3
2 調査結果	
問1 所属団体について	4
問2 所属団体の子どもに関する活動内容について	5
問3 活動を効果的に進めるために必要なことについて	6
問4 子ども自身、家庭、地域社会に望むことについて	6
問5 子ども・子育てに関するご意見・ご要望について	8
3 自由記載欄の意見一覧	9

# 1 調査の概要

## 調査の概要

### 1 目的

新たな「(仮称)青森市子ども総合プラン(令和6年度～令和10年度)」の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新プランに反映させる。

### 2 調査票及び対象者数

調査対象	対象者数
①乳幼児の保護者	959件
②小学生の保護者	1,221件
③小学校4～6年生	674件
④中学校1～高校3年生	1,506件
⑤地域・子ども関連団体	301件
⑥認定こども園・幼稚園・保育所(園)・学校等	219件

※①と②、③と④はそれぞれ合計2,180人

### 3 調査期間

令和5年12月15日(金)～令和6年1月15日(月)

### 4 調査方法

調査対象に応じたアンケート調査票を送付し、下記の2通りの方法で回答。(無記名)

- ①同封した返信用封筒による郵送での回答
- ②WEBフォームからの回答

### 5 報告書の見方

- ① 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100にならない場合がある。
- ② 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選んだ人が全体からみて何%なのかという見方としているため、各項目の比率の合計が100%を超える場合がある。

調査区域表

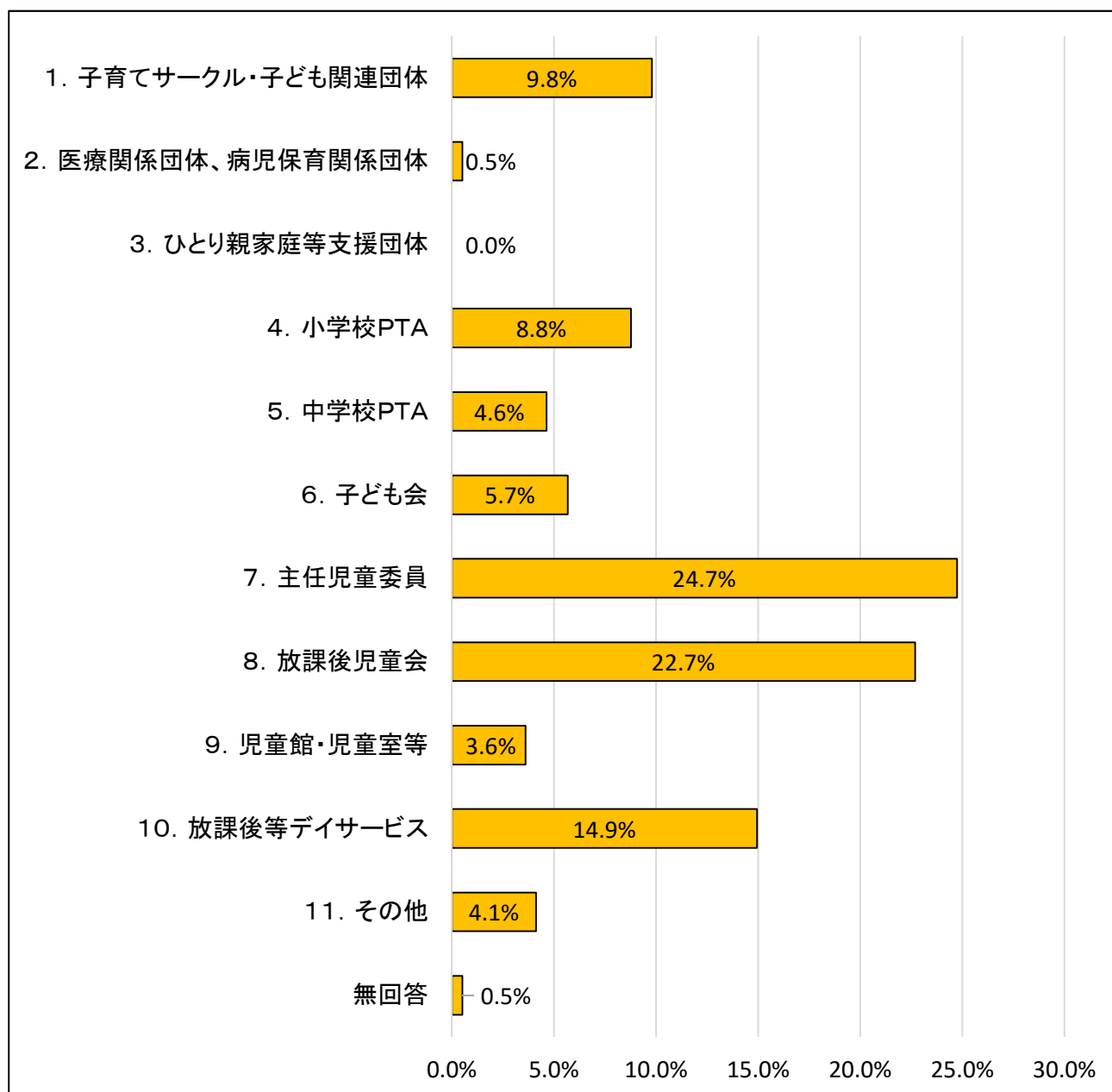
番号	区域名	区域住所
1	東部地区	浪打、港町、茶屋町、栄町、合浦、花園、はまなす、けやき、造道、岡造道、東造道、八重田、小柳、古館、松森、佃、中佃、南佃、大字野内、大字久栗坂、大字浅虫、大字宮田、大字馬屋尻、大字三本木、大字滝沢、大字矢田、矢作、本泉、原別、大字原別、大字平新田、大字後菴、大字泉野、大字矢田前、大字八幡林、大字戸崎、大字諏訪沢、大字築木館、大字桑原、虹ヶ丘、浜館、自由ヶ丘、大字戸山、大字沢山、大字駒込、大字浜館、大字田屋敷、大字古館、赤坂、蛭沢、月見野
2	南部・中部地区	堤町、青柳、橋本、中央、本町、松原、勝田、桂木、緑、青葉、筒井、長島、古川、新町、安方、金沢、旭町、大字筒井、大字浦町、大字浜田、大字幸畑、大字田茂木野、東大野、浜田、桜川、奥野、幸畑、西大野、大字大野(字金沢、字鳴滝を除く)、大字細越、大字安田、大字横内、大字雲谷、大字四ツ石、大字大矢沢、大字野尻、大字合子沢、大字新町野、大字牛館、問屋町、卸町、第二問屋町、妙見、大字高田、大字大谷、大字小館、大字入内、大字野沢、大字荒川、大字八ツ役、大字金浜、大字大別内、大字野木、大字上野
3	西部・北部地区	柳川、北金沢、千富町、沖館、富田、新田、篠田、千刈、久須志、大字大野字金沢、大字大野字鳴滝、石江、西滝、里見、浪館前田、大字西滝、大字三内、大字浪館、大字岩渡、大字孫内、大字新城、大字岡町、大字石江、大字戸門、大字鶴ヶ坂、三好、大字油川、大字羽白、大字西田沢、大字飛鳥、大字瀬戸子、大字奥内、大字前田、大字清水、大字内真部、大字四戸橋、大字後潟、大字六枚橋、大字小橋、大字左堰
4	浪岡地区	大字浪岡、大字五本松、大字王余魚沢、大字女鹿沢、大字下十川、大字増館、大字樽沢、大字銀、大字郷山前、大字吉野田、大字下石川、大字杉沢、福田、大字高屋敷、大字徳才子、大字大釈迦、大字長沼、大字北中野、大字吉内、大字本郷、大字相沢、大字細野

調査票の回収結果

対象団体	送付数	有効 回収数	回収率
子育てサークル・子ども支援関係団体	25	19	76.0%
小・中学校PTA会長	61	26	42.6%
子ども会	28	11	39.3%
主任児童委員	65	48	73.8%
放課後児童会・児童館・児童室等	72	51	70.8%
その他	50	39	78.0%
合計	301	194	64.5%

## 2 調査結果

問1 あなたの所属団体について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

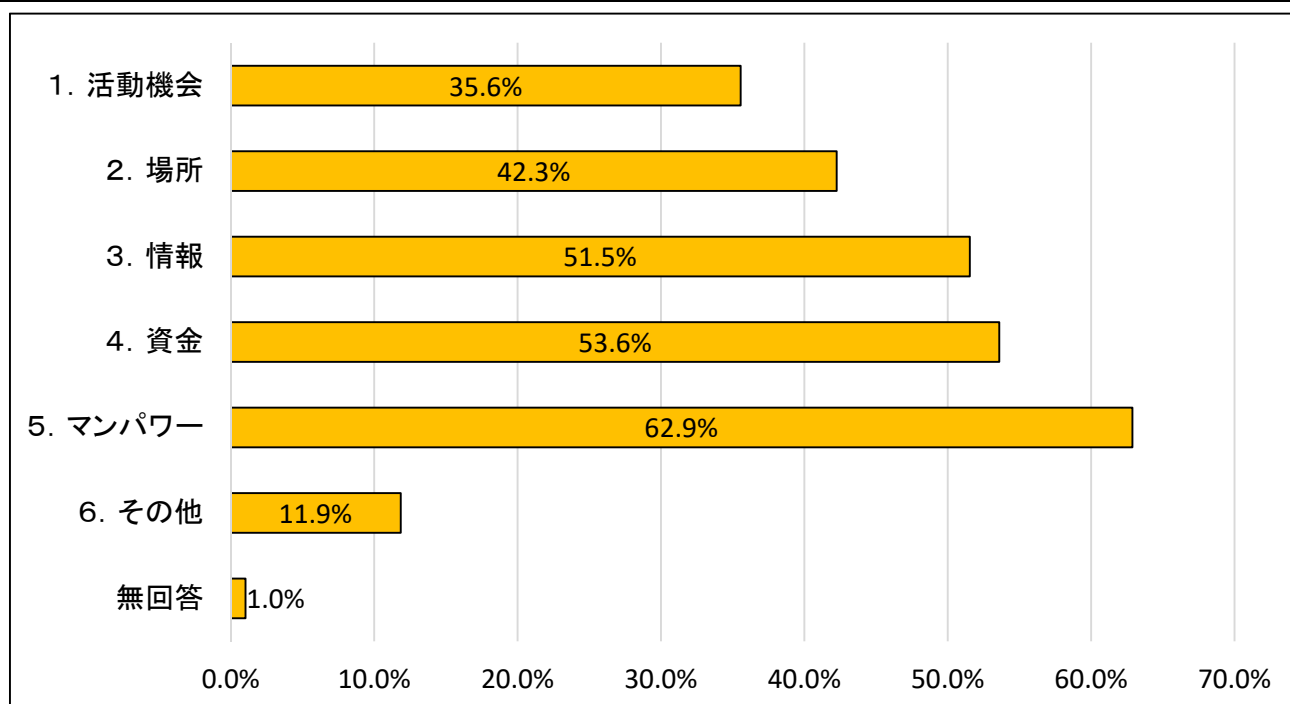


※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

**問2 あなたの所属団体の子どもに関する活動内容についてご記入ください。**

区分	活動内容
子育てサークル・子ども関連団体	読み聞かせ、家庭訪問型子育て支援、親子交流、遊び、体験活動、情報交換、イベント、講座、食事の提供、学習支援など
医療関係団体、病児保育関係団体	講座など
小学校PTA	学校行事の協力、環境整備、防犯対策(登下校見守り)など
中学校PTA	学校行事の協力、環境整備、防犯対策(パトロール)、広報誌発行、地域や他校との交流など
子ども会	イベント、遊び、ラジオ体操など
主任児童委員	児童の見守り、家庭訪問、関係機関と情報交換、学校行事・町内行事への参加など
放課後児童会	勉強や遊びのサポートなど
児童館・児童室等	勉強や遊びのサポートなど
放課後等デイサービス	障がいのある子どもやその家族に対するサポート、生活能力の向上のための訓練など
その他	読み聞かせ、職業体験、講座など
<無回答>	通学路の除排雪など

**問3 あなたの所属団体の子どもに関する活動を効果的に進めるためには、何が重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。**



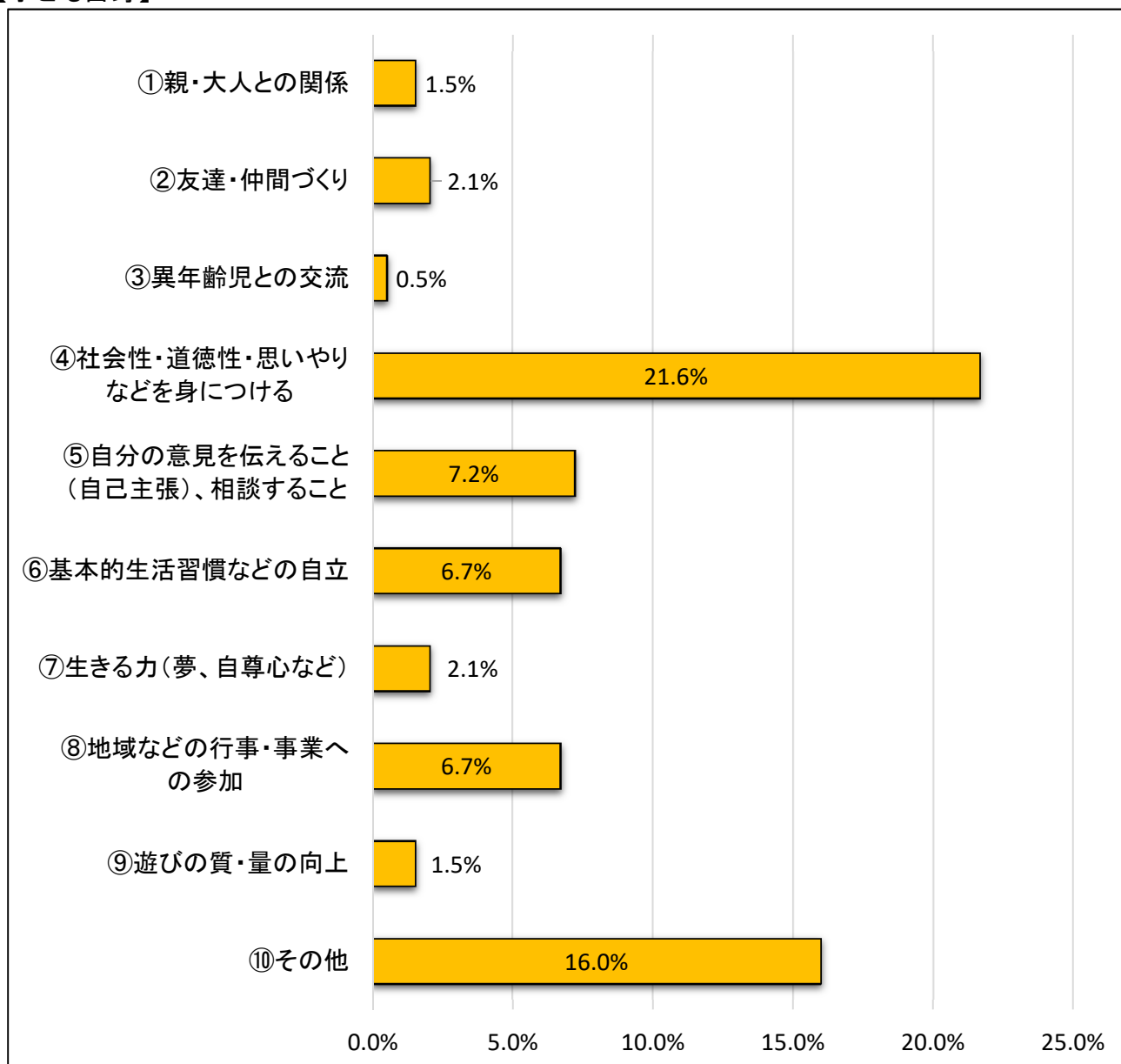
※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

### 【その他内訳】

- ・ 関係機関(学校・保育所等・地域)との連携・協力・理解(13)
- ・ 活動の周知手段(2)
- ・ 年代を超えた活動
- ・ 子どもに関心を持つ気持ち
- ・ 子どもたちの活動をきちんと評価し褒めること
- ・ 若い人の参加が少ない、世代交代が難しい
- ・ パソコン、コピー機、スマホ、ケイタイ
- ・ 専門的な知識と支援技術
- ・ 職員の質の向上
- ・ 編集者、取材者、誌面に登場してくれる方を募集できる機会が必要

問4 子ども自身、家庭、地域社会に求めたいこと、望むことがありましたら、ご記入ください。  
【自由記載】

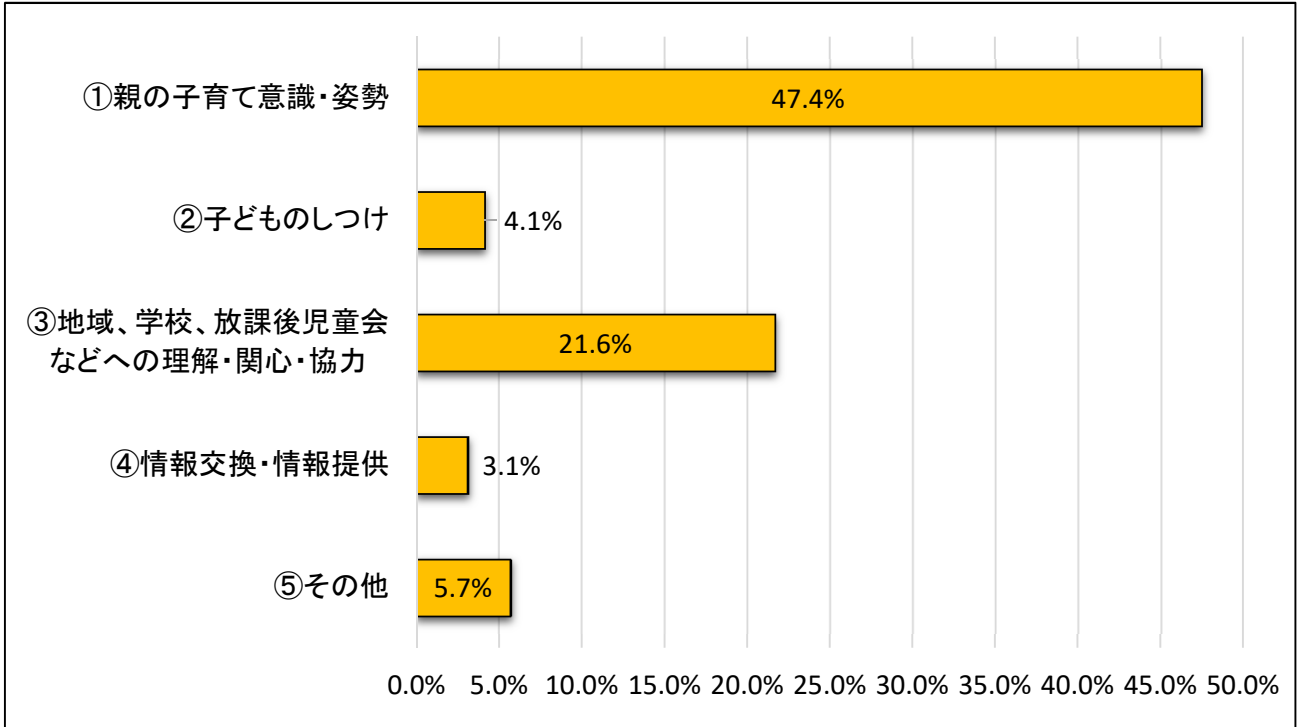
### 【子ども自身】



※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

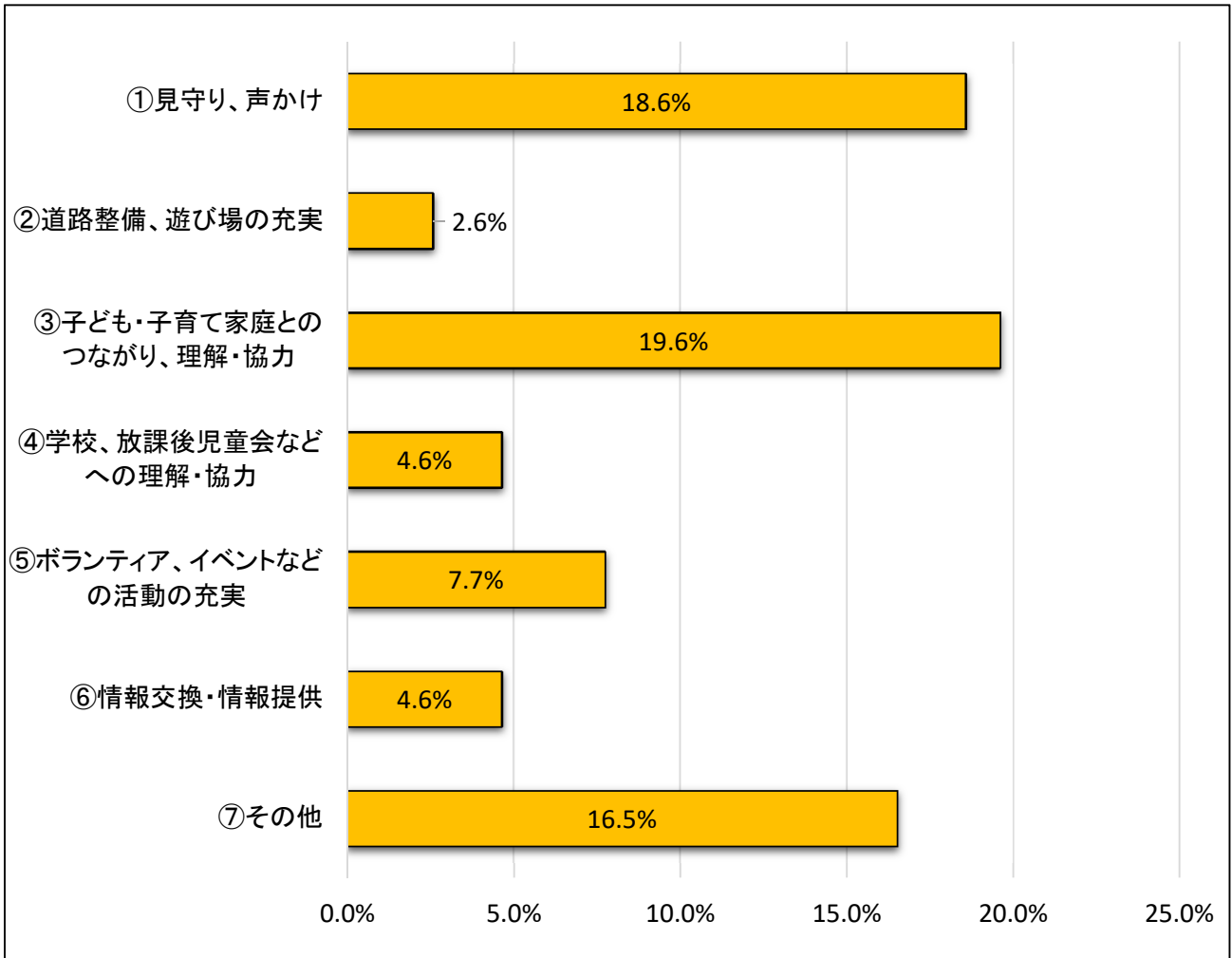


## 【家庭】



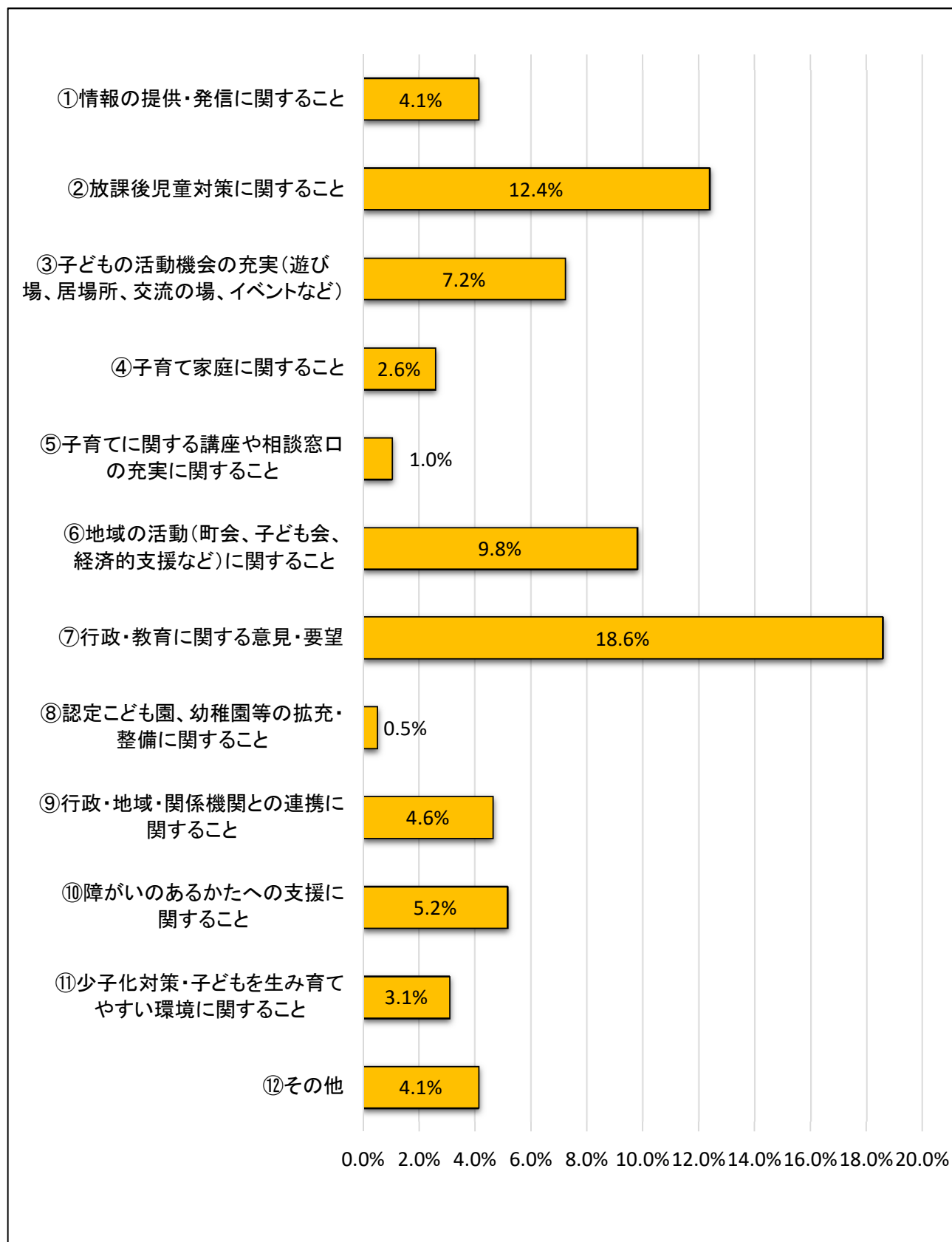
※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

## 【地域社会】



※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

問5 子ども・子育て支援に関するご要望、ご意見がありましたら、ご記入ください。【自由記載】



※アンケート回答者194人(全員)に対する割合

### 3 自由記載覧の意見一覧

#### 問4【自由記載】(子ども自身)

①親・大人との関係	
1	親に甘える事がなく、支援員に甘え離れない。キれる。親と話さず、支援員にばかり“聞いて聞いて”と話が止まらないなど。家で自分を出せない子どもが増えている。家庭で過ごす時間の大切さも知って欲しい。
2	家族の触れ合いを通して、子ども自身が、基本的な生活習慣や、生活能力、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的マナーを身につけてほしいです。(家庭教育が、全ての教育の出発点なので、親自身の成長も必要)
3	保護者に甘えたり、自分の気持ち、希望を伝えたほうが良いと思う。児童会では友達や支援員に当たったり、不満をぶつかけたり、わがままを通すところではないことを理解してほしい。
②友達・仲間づくり	
1	ルールを守りながら、友達と仲良く遊んでほしい。
2	元気が一番。友達と元気に遊んでほしい！(ゲーム機とかでなく、体を動かす)
3	不審者や交通量の多い危険な環境から身を守るため、子ども同士での遊びの機会が少なく、外遊びなどの経験が少ない。習い事事情もあるだろうが、もっと子ども同士で遊んでほしい。
4	楽しく遊び、友情を育てて欲しい。
③異年齢児との交流	
1	学校と違った異年齢間の活動を通して、希薄な地域交流を解消したい。
④社会性・道徳性・思いやりなどを身につける	
1	自主性、社会性、創造性を培って欲しい。
2	人の話を聞く、協調性。
3	スマホをやめる。がまんを覚える。
4	自己中心的な考えばかり主張するだけでなく、周りの人をおもいやる気持ちも育ててほしい。
5	自律
6	・良い事、悪い事の区別をつけて行動してほしい。 ・友達が嫌な思いをしない行動。 ・ルールを守って生活してほしい。
7	放課後児童会のルールを守り仲良く活動すること。
8	人に危害を加えたり、暴言を吐かないなど集団生活のルールを守ること。
9	自分の意見も言うと同時に友だちの話を聞くことも大事。権利ばかり主張するのは平等でないことを伝えていきたい。
10	人の話を聞く姿勢
11	理解する。
12	楽しく友だちと行動することに積極的になること。
13	ルールを守ること。
14	明るいあいさつ
15	集団で過ごす場なので、他人を思いやったり、物を大切にしたりする気持ちを育ててほしい。
16	思いやりの心
17	あいさつ、協調性を育てる。
18	自主性、社会性、創造性を培ってほしい。
19	社会性・コミュニケーションスキル
20	思いやり
21	思いやりの育成及びルールを身につける。
22	他者への敬意
23	支援会の話聞き、児童会のルールを守って活動する。

24	勉強や生活習慣も大切だが、一番は人間関係だと感じる。人を責めるだけでなく、自分にも悪いところがあれば認め謝る勇気を持ってほしい。
25	人を傷つけるような言動をせず、思いやりの心を持って、仲間として接してほしい。
26	素直さを持ってほしい。
27	親でもなく、学校の先生でもないので、支援員の話や聞かない子が増えた。児童会で過ごすルールは守ってほしい。
28	学校のきまり、社会のルールと同じように放課後児童会のルールもプラスして守ってほしい。(いじめをしない、乱暴しない、他人を傷つけないなどのあたりまえのルール)
29	ルールを守りながら、思いやりの心を持って、友だちと楽しく、元気に過ごしてほしい。
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守ることの大切さを学ぶ。</li> <li>・人を思いやる心を育む。</li> <li>・自ら考え、行動する力を育む。</li> </ul>
31	限られたスペースで、大人数がいるので、ルールを守って行動してほしい。
32	自主性、社会性、創造性を培ってほしい。
33	自由奔放で周りの人と協調する気持ちが無く、ネットの情報に振り回されて、友達を見下した事を平気です。どうしたら相手を思いやる事ができるのか。
34	児童間で思いやりをもってほしい。決まりを守って楽しく過ごせるようになる。
35	落ち着いて話を聞けること。
36	おおらかに。
37	いじめをなくしたい。
38	自主性
39	自発的な行動や、子供らしさをもっと出して欲しい。
40	自分自身や関わる人への愛情を持てる様に育ててほしい。
41	人に優しく、自身は打たれ強くあって欲しい。
42	情報が過大で子供自身が「良い、悪い」の判断が出来る教育が必要。
<b>⑤自分の意見を伝えること(自己主張)、相談すること</b>	
1	はっきりと自己主張をし、身を守ることを家庭、学校で教えることをお願いしたい。
2	もう少し自分の考えを伝えてほしい。
3	大人の顔色を伺って発言、行動するのではなく、子どもらしく素直に生活してほしい。
4	自分の考えや意見をきちんと伝えられるようになってほしい。
5	自分自身の考えや希望等は家族にしっかり伝えることが出来るようになってほしい。
6	身近な人へ相談する勇気
7	一人で抱え込まず、「助けて、辛い、悲しい」と親、友だち、先生など誰かに自分の言葉で伝えられる人になって欲しいと思います。言葉で伝えることが難しい時は、SNSなどで気持ちを伝えましょう。自分の気持ちを伝えることは、病気や悩みなど、何かあった際に自分自身を守ることにつながります。多様な体験は自分の財産になっていきます。自分を認め、お互いを認め合い、笑顔であふれる場が青森市内にたくさんあることを願っています。
8	相談があったら訪問した時言ってほしい。
9	心の悩み、貧困など困ったことがあったら、信頼できる大人、行政、子ども食堂などに相談してもらいたい。
10	困っている事、悩んでいる事を教えて欲しい。
11	勇気を出して、気持ちを聞いてもらおう。
12	相談する勇気
13	子・親でも、どんな小さな悩み事があったら誰かに話すように！私はその話を聴き(傾聴)、一緒に解決できるよう努力していきたいと思ってます。相談できる場所等。
14	悩みや、辛い事を誰かに話す…という事を知ってほしい。
<b>⑥基本的な生活習慣などの自立</b>	
1	自立していく。
2	自分の事は自分でやるという気持ち。(出来る事は自分で)
3	自己責任をもつ。
4	自立
5	自立性

6	基本的な生活習慣の確立
7	基本的な生活習慣が身につけてほしい。
8	自立
9	規則正しい生活
10	基本的な生活習慣を身につける。
11	自分のことは自分でできること。
12	自分で考える力をつけて欲しい。小さいうちは片付けや宿題。少し大きくなれば進路ややりたい事。それがいずれは、社会人になってから、仕事で言われたことだけやるのではなく、自分からやるべきことを考える、自分で見つける。という事に繋がるのだと思う。
13	基本となる生活リズムを身につける。
⑦生きる力(夢、自尊心、自己肯定感など)	
1	何でもできる、夢を持ってみよう。
2	自尊心
3	どんどんやりたいことをみつけてほしい。
4	国籍や性別、年齢、障がいの有無にかかわらず、子どもたちが安心して生活できる環境が今こそ必要だと思っています。子どもたちには多くの経験をして笑顔でのびのびと成長してほしいと願っています。自分は「自分でいいんだ、ありのままがいいんだ、ここにいていいんだ」とまずは自己肯定感を高く持って生きてほしいです。
⑧地域などの行事・事業への参加	
1	・民生委員、各町会の子供会等への自主参加 ・ボランティア活動への参加
2	積極的な活動参加をしてほしい。
3	子ども会行事に積極的に参加し挨拶、友達作り、協調性に慣れて欲しい。
4	地域でやっている行事にはぜひ参加してほしい。
5	地域の行事等に参加して、色々な人達と、かかわりをもって欲しい。
6	地域との関わり
7	気軽にイベントなどに参加し、地域住民との交流をはかり、仲よく一緒に活動してほしい。
8	行事に積極的に取り組む。
9	町内や子ども会の行事に参加して、近くに住む大人の人を覚えてほしい。
10	興味のある地域社会活動に積極的に参加してほしいです。
11	さまざまな学校や地域の活動に興味を持ち、参加してほしい。
12	ゲームや動画配信サイトなどばかりではなく、さまざまな機会に積極的に参加して欲しい。
13	積極的な地域活動の参加
⑨遊びの質・量の向上	
1	おもちゃでたくさん遊んでほしい。
2	外で体を動かして遊ぶ機会を増やして欲しい。
3	部活動が無くなった事とコロナ禍の影響もあってか、運動能力・体力的に少々怠ってきているように感じる。この事に関しては時代の変化によるものなのかもしれないが、子どもなのだからもっともっと外で遊び体力をつけて欲しいと思う。
⑩その他	
1	早く家に帰って来て欲しい。
2	読んでみたい絵本に出会えたらいいですね。
3	・上位大会へ参加する時の公欠の取扱い。 ・上位大会へ参加する時の学校活動への理解。
4	家をとびだし本にふれるようになってほしい。
5	もっと外に出る。
6	子どもに求めたい事、望む事言っても思う。周りが気をくばり、やさしく接する事が必要。
7	健やかに社会で楽しく過ごして欲しい。
8	小学6年迄児童会を利用することに児童の自主性、自立心、等の育っていないことを感じる。
9	文化継承
10	小学校グラウンドや各会館を使ってスポーツできる環境。
11	情報がとても多い中で子ども達らしくない所もあり話すことにとまどう事もあります。

12	給食で子供に合ったおかず。
13	図書館等を利用し、本に親しむ。
14	社会の様々な規則が多く、のびのびと動けないと感じている。
15	忙しすぎる、体を使った運動不足、スマホ等を使った誤情報に振り回されている。
16	落ち着いて過ごせる環境
17	子どもらしい健やかな成長。
18	学校、家庭以外の居場所づくり
19	健やかに生きること。
20	のびのび育てほしい。
21	活発に過ごすこと。
22	冒険心
23	他地域の中学校に行かず、自分が住む地域の中学校に通ってほしい。
24	過ごしやすい環境と良い思い出づくり。
25	一人でなやまないで。
26	障害があっても周囲に支えられ幸せに暮らして欲しい。
27	・内発力を高めるために、様々な事柄に挑戦してもらいたい ・学校以外の様々な事柄に関心を持ち、興味をもってもらいたい
28	・自信を持ち色々な事に挑戦してほしい。 ・面倒な事から逃げないでほしい。
29	青森を好きな気持ち
30	心も身体も元気に育て欲しい。
31	子ども一人ひとりの気づく・わかる・出来るを確認し、自発的に行動する。

問4【自由記載】(家庭)

①親の子育て意識・姿勢	
1	毎日、子どもの事や仕事などで余裕がないと思うけど他に頼ったりしながら、ゆっくり余裕を持てる と思う。
2	土曜日、保護者が休みなのに、遊ぶために利用する児童がいる。保護者が休みであれば、家庭で過 ごして欲しい。
3	ポジティブな声かけ。
4	安全、情緒の安定を家庭内の会話・スキンシップで図って欲しい。
5	どこかで誰かとつながろう。
6	時間厳守。
7	働く親が増えた事で子どもを預かる環境が整って子どもを預けやすく社会も働いてはいるが、それに 伴い、自分の子どもに関心がない。ネグレクト的な子どもも増えているのも現状だと思う。
8	自分の子どもとの友達関係をやめる。親として行動する。
9	様々な家庭環境の子達が集まる場なのでお金の使い方(おこづかいのあげ方)や帰宅後や日曜など の子どもとの向き合いなどどういう大人になって欲しいか考えてゲームやネットのみに預けるのでは なく接してほしい。
10	夫も家事に協力してほしい。
11	仕事におわれる毎日に終わらず、明るく笑いのある家庭がいっぱいになってほしい。
12	こわれやすいおもちゃもあります。こわれても子どものせいにはしないでほしい。
13	感謝
14	子どもと向き合う時間を十分につくってほしい。
15	夫も家事に協力してほしい。
16	男女共同参画社会といいますが、田舎ほど、家事・育児に関する女性への負担が大きいです。母 親が社会の一員でいられるように、父親も積極的に育児に参加できるような家庭環境の構築を望 みます。
17	・子どもと一緒に過ごす時間 ・子どもの希望を聞いてくれる。

18	預けっぱなしにしないで愛情を持って子どもに接すること。子どもを第一に考える(何を施すことが有意義か)
19	子どもをあずけて帰ってしまう保護者が多いので毎回でなくても良いから、子どもの様子を見て欲しい。
20	自分の子どもに関心を持って欲しい。
21	他の親と交流する。
22	親と子の良い思い出を残すことが良いのかな。
23	児童会の利用に関して、子供とよく話し合った上で利用してほしい。
24	子供達への目配りを常にお願ひしたい。
25	協力、愛情、ゆとり
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活</li> <li>・子どもへの関心</li> <li>・栄養のある三度の食事</li> <li>・子どもの気持ちの尊重</li> </ul>
27	どの家庭も事情があり、我が子に我慢させてしまうことがあるが、今一歩考えて結果を。
28	自分の子どもとよく会話する。
29	子どもの様子をよく見て、本人(子ども)と他愛のない話でもいろんな話をしてほしい。
30	親の役割の再認識、自身の鏡。
31	親子関係での関わりが少ない。
32	安全、情緒の安定を家庭内での会話やスキンシップで図ってほしい。
33	もっと話をたくさんする。
34	家庭内だけで悩まず だれかに話す、相談するだけで気持ちが楽に楽になると思う。
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠慮せず困り事は相談して欲しい。</li> <li>・子ども達と共依存するのではなく親自身の人生も考えて活々と過ごして欲しい。</li> </ul>
36	安全、情緒の安定を家庭内の会話、スキンシップで図って欲しい。
37	子どもの様子について連携していきたい。
38	すべてではないが、親・子どもの関わりが希薄に感じる。子どもの学習や日常の過ごし方に関心をもって考えていかなければならないと思う。
39	子どもとのコミュニケーション
40	保護者同士のコミュニケーション
41	幼児期から本の楽しさを伝える。親子の対話の時間をもっと多く。
42	できること少しずつ協力してほしい。
43	子どもに仲良くというなら、家庭にもそれが必要だと思う。叱る前に、子どもがどんな気持ちなのか、じっくり話を聴いて、スキンシップも大切と感じる。
44	できないを認め、できたことを大いに褒めること。
45	子どもの声に耳を傾け、子どもの心に寄り添った対応をしてほしい。
46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言動、行動に対してもっと関心を持ってほしい。</li> <li>・保護者は子どもの話をそのまま鵜呑みにせず、事実確認をしてほしい。</li> </ul>
47	どんな小さな悩み事でもあつたら誰かに話すように！私はその話を聴き(傾聴)、一緒に解決できるよう努力していきたいと思つてます。相談できる場所等。
48	親子で対話できる経験(体験)する時間を共有してほしい。
49	自分の子どもが一番という親が多すぎます。忙しいのは分かるが、活動に関わつてほしい。
50	子育てをする主役は保護者であり、家庭であるので、子どもにとって本音を話せる、信頼できる、安心して過ごしたい存在であつてほしい。休日などは、児童会を利用せず、子どもと過ごしてほしい。
51	地域とつながりを持ち、自分たちだけで頑張りすぎない。(子育てを)

52	子どもたちにとって家庭は、家族のふれあいを通して安らぎ楽しく温かく心穏やかに過ごせる場であって欲しいと思っています。親も子育てをしながら共に学び育ち合う…子どもの未来を支える親もまた笑顔であふれる家庭であって欲しいと願っています。親は先回りせず、子どもに気持ちや考えを聞きながら、親子で一緒に体験して「うれしいね」「楽しかったね」と感情を言葉にして共有してほしいと思います。仕事と子育ての両立の難しさ、時間的に余裕もなく精神的にもゆとりが持てない状況下にあっても、親もまた誰かに「助けて、辛い、悲しい」と相談してほしいと思います。
53	家族で悩まず、声をあげて聞いてもらう。
54	親の考えが一番正しいと思わず、子供が求めている事を見極め、正しい愛情を注いで欲しい。
55	困り事はなるべく早く相談。どんな事でも子どもの話はよく聞いてください。
56	親子の会話を一日一回は必ず！（高学年、中学、高校の子どもたちとも一日一回は話しをしよう）
57	・責任をもって子育てしてほしい。 ・子どもとよく話をしてほしい。
58	子どもと関わる時間
59	休日（仕事休み）に子どもと過ごす時間を増やしてほしい。
60	安全・情緒の安定を会話やスキンシップで図ってほしい。
61	・時間があっても子どもと向き合わずに人任せ ・親がルールを守らないので、子どももそれで良いと思ってしまう ・他の人への感謝の気持ちを持ってほしい
62	子どもの行動について、よく見守って、言い分もきちんと聞いて、暖かい家庭で過ごせるようにしてほしい。
63	子どもの話をよく聞いて、理解してあげられるようなあたたかな家庭環境をつくってほしい。
64	忙しくても、頭ごなしに言うのではなく、子どもの心に寄り添って、気持ちを汲み取るよう心掛けてほしい。
65	親は、子どもの様子をきちんと見て欲しいです。少しの変化も見逃さずに。
66	仕事が休みの時は、家庭で子どもとコミュニケーションを十分とってほしい
67	子どもの親としてだけでなく、地域・社会として子どもを育てるという気持ち。
68	男女共に働き、子育ての時間をなかなか持てない状況にあると思います。シニア世代にもっと頼ってください。
69	心の悩み、貧困など行政に早く相談してください。
70	冷静に
71	愛と安定した家庭環境
72	子供に色々な経験をさせること。
73	お子さん、保護者様自身を認めたくえで、必要なサービスを利用し、将来の本人なりの自立(支援付きでも)を周囲の人、関係機関と繋がりながら目指して行って頂きたい。
74	喜びが耐えないこと。
75	安心できる関係と環境
76	子供にきちんと食事を取れるようお願いしたい。
77	障害への理解、子供への理解
78	細かな事でも話をし、明るい家族
79	親自身がまだ子どもで未熟すぎるので日々の生活に学びを。
80	子供への高い関心
81	子どもとの適度な距離感
82	子どもとの相互的な良い関係づくり
83	温かい雰囲気のある家庭
84	子どもが安心して過ごせること、大人が気持ちにゆとりを持って子育てできる環境
85	福祉制度を活用して、家族が障害のある子がいることによる不利益を受けないよう生活して欲しい。
86	・内発力を高めるために子どもたちの挑戦を応援してもらいたい ・大人の視点で、子どもたちに情報提供、アドバイスを行ってほしい



87	困っていることは、一人で解決しようとしな。家族や周りの人に相談する。子育ては一人じゃ絶対無理。家庭の状況もそれぞれ違、感覚や考え方ももちろん違、色んなパターンがあることを知るとか、自分では思っでなかつたような考えを知ることが出来る。人とのつながりが本当に大切だと思。
88	子どもが安心して毎日を過ごす事ができるように親をはじめとする大人の心の安定をはかる。
89	・「障害特性」と決めつけず、「わがまま」だと理解してほしい。 ・「障がい者差別」と言いながら「健常者差別」をしている事に気付いてほしい。
90	福祉制度を利用し、心に余裕をもって子育てをしてほしい。
91	子どもの成長についての共感
92	多胎家庭は気兼ねなく助けを求めて欲しい(本サークルは多胎家庭サポートのため)
<b>②子どものしつけ</b>	
1	基本的な“しつけ”を身につけてほしい。
2	自立性
3	子どもに対して過保護せず、自主性を重んじて欲しい。
4	日常の生活マナーが家庭での影響が一番ですので家庭でのマナーのしつけを充分にしてください。
5	子どもには、年齢に応じた適切な指導をお願いしたいと思います。
6	一般社会に通用する基本的なしつけ
7	しつけについては、家庭で行うことが基本で、人任せにしないでほしい。
8	しつけ
<b>③地域、学校、放課後児童会などへの理解・関心・協力</b>	
1	活動への協力、役員の担い手。
2	幼少期より、各町会への行事への子と一緒に参加。
3	お母さん、お父さんが絵本に興味をもち、子供達とおはなし会に参加してもらえたらと思います。
4	学校の欠席とはリンクしてないので、欠席連絡をしてほしい。居場所確認をしっかりやりたい為。
5	学校行事に参加、協力する気持ちを持つこと。
6	子どもと一緒に地域の行事に参加してまわりの人とのコミュニケーションを取ってほしい。
7	家族で地域と関わって欲しい。
8	子ども会、学校等の活動に関心をもってもらいたい。
9	子どもの活動する事柄に家庭でも、もっと関わってほしい。
10	子育て世代親の地域へ感心と協働
11	子どもが通っている学校にも興味を持ってほしい。
12	行事に積極的に参加
13	協力(子が通う学校や地域に対して)
14	部活に替わる運動クラブに対する経済的補助(部費)。
15	放課後児童会の趣旨をよく理解していただくこと。
16	共働きによる送迎の問題をクラブへ持ち込まず、誰かを頼ってほしい。
17	児童会と家庭との連携
18	職員に対しての要望・要求が激しい時がある。
19	・必要事項の連絡を忘れないでほしい ・職員の大変さを理解してほしい
20	学校や施設、関係機関との円滑な連携
21	児童会が提供する事、子どもに関する事の把握
22	◦保育園と児童会での違いを少しでも理解してほしい ◦問題解決のために協力し合える関係でいたい
23	理解と協力
24	家庭内、学校内では見せない姿を見せるのが放課後児童会です。子どもの話だけを聞くのではなく、支援員にどうしているか聞いていただけたらと思います。保護者の理解と協力あつての会なのでお願いしたいです。
25	学校と同じように協力的であつてほしい。開設時間を守ってほしい。
26	利己的で協力することが少ない。
27	子どもに関する情報を支援員に伝え、適切な対応ができるよう、協力してほしい。子どもの不適切な行動(事実)に対して伝えられた際、受け止め、一緒に解決してほしい。

28	訪問した時は会ってほしい。
29	児童会(放課後)の過ごし方に関心を持ってほしい。
30	子どもの興味のある活動に出来れば同伴にて参加してほしいです。
31	療育の場ではなく預かりの場と捉えている保護者の方もいるように感じることもある為違いを理解していただきたい。
32	無理なお願いが多数あること。
33	子どもの自主性を尊重して学校や地域の活動に参加させてほしい。できれば運営にも関わってもらえれば…。
34	もっと地域のことに興味を持ち、自分の住む地域を自分の責任で盛り上げて欲しい。
35	子ども会への関与
36	学校への活動の積極的な参加!同じ父兄のみになっている。忙しいを口実に不参加が目立つ!
37	行事等への協力
38	めんどくさいかもしれないけれど、学校、先生、保護者どうし、地域との関わりをもって欲しい。
39	・会員手帳の確認と活用(何日も同じ児童が忘れてくる) ・密な連絡
40	すみやかな出欠の連絡
41	出欠の連絡をきちんとしてほしい。緊急時は必ず連絡がつく人の連絡先を教えてください。
42	欠席の連絡をしてほしい。
<b>④情報交換・情報提供</b>	
1	家庭の内情等の情報が入ってくるようにしてほしい。
2	学校との情報交換と交流。
4	積極的な情報共有
5	子どもの支援方法についての情報交換、共有
6	子どもの情報を共有し、子育てに生かしてほしい。(役立ててほしい)
<b>⑤その他</b>	
1	早めの療育をおすすめします。
2	町内にある文庫を親子で利用してほしい。
3	文化継続
4	家族で取り組めるイベント
5	現代は時間におわれている生活の中で家庭の中での生活があわただしすぎて家庭という意味は考えます。
6	子育ては決して一人ではできません。保護者が安心して子育てができるよう社会全体で考え支援していく青森県でなければと考えます。困ったときには県行政各種機関に頼って地域の人々とつながりながら子どもを見守っていきましょう。
7	困難な状況を変えていくのは自分達自身だと思います。政治等対してもっと声をあげてほしいと思います。
8	気軽に相談できる相手
9	子供が楽しく通える学校
10	クロムブック(ノートパソコン)の支給により、子どもたちのタイピング能力向上など、時代にマッチした楽しい教育が出来ている事には感謝している。しかし、その反面、タブレットやスマホを持たせる家庭が増え、その影響で学力的に問題がないか少々不安に感じている。
11	他地域の中学校に入れず、自分が住む地域の学校に通ってほしい。

#### 問4【自由記載】(地域社会)

<b>①見守り、声かけ</b>	
1	地域全体で子どもの安全、情緒の安定を見守る。
2	みんなで子供達を見守りたいですね。
3	住民全体での見守り確認
4	不審者からの見守り

5	子どもたちの見守り
6	温かい目で見守って欲しい。
7	見守り協力
8	地域で育てる気持ち！小学生22人、中学生3人の地域なので、大人が見守っているよ！となりたい！
9	地域との交流、連携を深めたい(防犯状の上で大切)
10	地域全体で子どもの安全を見守る。
11	見て見ぬふりをするのではなく、声をあげる、声をかけること。
12	防犯、防災活動の参画
13	地域全体で子どもの安全、情緒の安定を見守る。
14	見守る心の意識づけ
15	登下校の安全について心配りしてほしい。(雪道など)
16	子どもの見守り
17	放課後児童会利用児童の見守り
18	外遊びをする時など、人数が多いので、騒がしくなる時もあるが、あたたかく見守ってほしい。
19	子どもを見守り、下校、登校時、声掛けをする。遊んでいる子どもにも、声掛け、安心・安全な地域だと、子どもたちに知ってもらうように。
20	登下校時の見守り
21	不審者に対する見守り。通学路が安全であるなど協力していただきたい。
22	子どもたちや、その親たちに批判的でない、優しい眼差しで見守ってほしい。
23	同じ地域、町内の子どもとして、暖かく見守ってほしい。(事故防止等)
24	・あいさつ ・声掛け ・他の施設
25	地域全体で子どもの安全・情緒の安定を見守ってほしい。
26	地域全体で、未来の時代を築いていく子ども達をしっかりと見守り、応援していけるようにしてほしい。
27	近所の子どもたちに対してあたたかく見守り
28	地域の元気な高齢者の方々に協力してもらい子どもたちを見守る地域にしたいです。
29	子育て家庭を見守る目
30	登下校時の児童の見守り
31	障害を持った方たちをそのまま認め、直接手助けは出来なくても、温かく見守って頂きたい。
32	見守り
33	見守り
34	地域で見守り
35	子供の安全を見守る。
36	PTAや学校が、生徒達との関わりを持てる機会を用意できるようにするので、子供達を優しい気持ちで見守って欲しい。
<b>②道路整備、遊び場の充実</b>	
1	環境整備
2	子どもがのびのびと過ごせたり、遊べたりする所が増えたら良いと思います。
3	子どもが遊びやすい屋内施設がほしい。
4	環境の整備
5	未就学児の無料で遊べる場所はいくつかあるけど、小学生になるとお金がかかるところばかりになる。時間にもお金にも余裕が無いと、結局スマホを見せたり、ゲームをするばかりになり、発散する場所が無くて悪循環になる。
<b>③子ども・子育て家庭とのつながり、理解・協力</b>	
1	子育てや、子どもに寛容。子育て家庭へも寛容。前例や慣習の押しつけをやめて、これからのことを考えられる人が増えてほしい。
2	少しずつできることをしてつながっていこう。
3	若い人がもっと地域のことに関心をもつ。
4	色々な年齢層の方と子どもたちとの交流の場があればと思う。

5	子育ての第一義的な責任は親や家族にあるが、子育てとは家族だけでなく、地域社会で取り組む必要があると思います。子育てを担う親は心身ともに負担感を担っているため。地域社会において子育てはにおける負担軽減、子育て支援システムの構築ができる事を望みます。
6	騒音に対しての地域の理解。
7	障がい 理解
8	障がいや成長がゆっくりな子についての理解が進んでくださるといいなと思います。
9	子どもの行動への理解
10	活動場所近辺の地域の理解。(ウルサイなどのクレームが来る)
11	現実の認識、子供が将来をつくっていくこと。
12	交流の場を作る。
13	他の子ども会との交流する場所がもっとあれば良いと思います。
14	障害や障壁への理解。
15	子供の出す声(大きい声、奇声など)に対して、もう少し理解してほしい。
16	知的障害や自閉症の理解
17	子どもや若年層との交流によって、世代のちがいを理解し、互いの経験を補いながら深めてほしい。
18	子どもがいる・いないに関係なく、協力体制
19	今年の猛暑で孤独死が多く出たと聞いた。ゴミ出しの時や朝夕に挨拶するだけでも町内の良い絆が生まれる。子どもに思いやりの心を育てるなら、大人たちの中にその実践が必要だと思う。
20	公共施設の使用料を免除するなどして、利用を広げ開放的な集まりやすい環境にしてほしい。
21	これからの未来を支える子どもたちを社会全体で支え合っていかなければなりません。そのためには子供たちの頑張りを支え、保護者の方々の頑張りに対して地域社会全体で、学校も行政も企画もみんな子育て・子育てを応援していく青森県になればと願っています。
22	障がいを持っていても安全に楽しく過ごせる施設(場所)が増える。
23	地域の「子ども会」等を活発にして、横のつながりを持てるようにして、見守って育てていけたらと思う。
24	近所付き合いを通して子育てに協力してあげてほしい。
25	異年齢、異業種の大人が、地域で何らかの形で繋がる機会を作り、子どもと大人同士がもっと関わる事が重要！(人間関係が希薄になってしまった現代では難しいが…)
26	子どもの居場所としての役割
27	もっと昔のように地域の繋がりが持てるよう心をくだいていけたらと思います。
28	子どもの居場所を数多く開設することに努力してもらいたい。
29	特徴が大きい子が居て当たり前前の普通の社会、過度な気遣いは不要です。
30	障害児に対する理解・啓発
31	地域全体での子育て意識
32	子供達の健全な育成
33	障害がある人もない人も共に支え合って、住み慣れた地域であたりまえに生活できる社会であって欲しい。
34	子どもたちの未来のための様々な事業への応援・支援を行ってほしい。
35	子育てを終えた大人たちが、それまでに培った知識や体験で、子育て世代が孤立して悩むことがないようにサポートする。
36	障害特性を理解してほしい。
37	学校生活時代に関わる支援者が、子どもの将来を一步二歩先に見据え、就労生活へとつなぐ支援が充実すること。
38	子育て世代への共感、寄り添い
<b>④学校、放課後児童会などへの理解・協力</b>	
1	学校と連携をとりながら、行事等に参加してほしい。
2	学校、保育園との連携(保育所等訪問事業等)がうまくとれると良い。
3	コロナ禍のため、学校行事の大運動会や発表会に参加できなくなった。早めの復活を強く望んでいる。
4	行事に積極的に参加。

5	特別活動として、普段では経験できないことを経験させたいので、依頼を受けてほしい。地域を知り、地域とのつながりをつけたい。例)消防団(避難訓練)、手品等の特技の披露、遊びの指導 他
6	地域の方々のご協力があって小学校のPTAだと思ってるが、近年高齢化を理由として、昔みたいに活発に活動してもらえていない事に不安を感じている。
7	コミュニティスクールに理解を示し、協力してほしい。
8	学校行事へのボランティア活動をお願いしたい。
9	部活動の地域展開に備えた準備を協同で行ってほしい。
⑤ボランティア、イベントなどの活動の充実	
1	各町会・社会福祉協議会が子供が参加できる企画。
2	ボランティア精神
3	・子ども教室の復活 ・地域の方が料理、何かを公民館等で教える。
4	学校、地域とも、多くの事業をつくり家族共々、参加して欲しい。
5	年配の方の参加する行事はたくさんあるが、若い人や、幼児を持つ親子の関係した行事はあまりない。
6	色々な年代の人が参加できる行事
7	出前講座を増やしてほしい。
8	遊べる場、楽しめる場の設定
9	地域起こし
10	様々な年齢層が交流できる場、イベントがあること。
11	各町会でも、子どもたちと大人の交流ができる行事などを取り入れて欲しい！
12	出前講座
13	コロナが5類になったので、いろいろな活動が少しずつ増えていけばよいと思います。
14	情報を交換、共有する仕組み
15	イベントで協力できる体制
⑥情報交換・情報提供	
1	地域での情報も民生委員に知らせてほしい。
2	地域とどこまで協力し合っていくべきか、あまり情報がなく。自分達の施設の周りでは特定の人しか見当たらない。協力をもっとお願い出来たらと思う。
3	困った事があつたら、支援できる・支援できる機関につなげるという事を知らせる、知ってもらう。
4	情報の流し方
5	赤ちゃんやママが集まれる場所が増えてはいますが、発信できる場所が少ないので「知らなかった」と言うママが多い。多くのママに伝える発信できる手段を増やしていくこと。
6	情報の周知、共有をして子どもを支える全ての関係機関で子育てをしていく。
7	情報がほしい。
8	障がい児が参加できるイベントの宣伝をもっとしてほしい。
9	イベント等の情報を増やしてほしい。
⑦その他	
1	周りと共に連携をして欲しい。
2	高齢化しつつある、地域だが、お互いを尊重しあえる地域社会を目指したい。
3	小児科が少ないので病院が混んでいる。
4	おもちゃには耐用年数の定めが無いので部品の入手は容易ではありません。加工、工夫して自作する部品も多々あります。修理に多くの時間を理解していただきたい。
5	協力
6	・学校や公共施設の利用の円滑化。 ・平日の活動に関する人的補助。
7	町会より助成金をいただいたり、古紙回収の収益金を基に活動しているので、ありがたい。
8	補助に頼らない活動
9	様々な場面で理解・協力をもっとしてほしい
10	町内にある文庫を利用してほしい。
11	協力してくれる方々関心を持ってくれる方々がもう少しふえてくれるといいと思っています。
12	理解と協力

13	もっと老人等を巻き込み活動が必要。
14	子育て支援には賛成だが、あまりにも保護者の責任を減らすのは如何なものかと感じる。子どもを産み、ある年齢までは一緒に過ごし、親になっていく過程を大切にできる労働環境を整えたほうが良いと思う。
15	無関心
16	声をあげる場所をたくさんある場所にあるといいのでは。
17	24時間開かれた窓口と情報とアドバイス
18	子育て世帯が子育てを最優先できるような労働環境になってほしい。例えば小学生以下の保護者どちらかの勤務時間を8時～17時にするなど。
19	・学校内の開設でも利用する場所等の制限が多い ・教育委員会と福祉厚生の分け隔てない環境がほしい
20	地域社会と関わることがあまりないのでわからない。
21	俯瞰しよう。
22	活力があること。
23	家庭環境に左右されず食事をきちんと取れる社会の実現
24	活動に参加する年齢層が幅広くできるように活動内容などアップグレードしていけるように地域で工夫して取り組んでいく。
25	活動する場所、機会の提供
26	子供達と交流がもてる機会
27	広域な連携、支え合いが必要。
28	寛容さ
29	活動の場の提供 マンパワーの発掘
30	児童館(子どもだけで行ける場所)や、親子共にフリーで遊べるスペース(公民館の無料開放希望)、公園 ※地域の関わりというより、子育てに行き詰まった時の逃げ場がほしい
31	災害時には地域の方たちの協力を得られれば幸いです。
32	特性を活かせる働き方、場所が増えること。

#### 問5【記載内容】

<b>①情報の提供・発信に関する事</b>	
1	外見上から中々判断がつかない。情報の伝達。
2	働く親が増えているので、家庭以外で子どもが過ごす時間が今後も増加すると考えられる。子どもが過ごす場所についての積極的な情報提供があればありがたい。
3	子ども、家庭に関する情報が何もないのでどう活動したら良いのか分からない。
4	特別な支援を要する子どもについての情報
5	さんぽぽさんや元気プラザさんに顔を出しても、無料はいいけどお金がかかる事(教室)は出来ないのpopを貼ることもできないと言われました。ママの中には、参加費を払ってもやってみたいと思う人もいるので、マタニティ教室をやるときなど「こんな教室もあります」と少しでいいので発信させていただいたら嬉しく思います。
6	夏休みのラジオ体操に参加しましたが、大人15名、子どもは3人くらいと少ない人数でのラジオ体操でした。子どもの人数が少ないことと、個人情報があるとのことで、子どもの情報が入ってこない。何が出来るのか、よくわからない。
7	障害児に関する普及啓発により注力していただきたいと存じます。
8	市民に障害児を持つ親の会の活動をもっと宣伝して欲しい。
<b>②放課後児童対策に関する事</b>	
1	自分達の勤務している施設に関して、色々と希望を出しているが、進まない。安心して子どもと過ごせる居場所の提供を保護者も望んでいる。一人の帰りの子どもやこの地域での開設を引き続き希望している保護者や兄弟組のお迎えなど考えれば、この近くの場所での開設を今後強く希望する。又、現状、良い関係性で支援員も仕事が上手く回っているので子ども達の事も含め、現状の支援員で回して欲しいと希望する。

2	入会児童数に対して施設の広さが足りず、又迎え時の駐車スペースも不足しており近隣へ迷惑をかけております。できれば、市内ではまだ2ヶ所しか開設していない学校敷地内に放課後児童会を建てる、という方向に全ての児童会を持っていけたら火災時に於いても安全かと(通いの便でも)思います。又開設時間は現在8時～18時半ですが、これ以上を求められるとただでさえ不足の支援員が家庭を犠牲にしてまでも無理とやめてしまうことが予想されるので学童などで時間を見て行き、帰る、は続けてほしいと思います。
3	市役所は何もしてくれない。定員に対し支援員が少なすぎる。時給が安い。長く勤務したり、マックス週6日働いてもメリットがない。何も評価がなくやりがいがない。事務の仕事がアナログすぎる。出退勤の押印、出勤状況等、メールの受け取り等 아이폰等に変えてほしい。ムダな時間と労力で仕事が増える。
4	支援員不足の改善。
5	子どもの数に対する支援員の数が適性か？(片寄りが見られる)
6	就労の確認を年に2～3回にしてほしい。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会の利用学年は3年生迄</li> <li>・利用時間は18:00迄</li> <li>・土曜日の利用はなし</li> </ul>
8	地域により活動場所(教室等)や配置支援員の数等が片寄っている。
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時々でいいので、児童会の様子を見に来てほしい</li> <li>・子どもの人数と支援員の人数があっていない</li> <li>・毎年行っている面接は必要ですか？</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童出欠管理等保護者連絡のネットワーク化。</li> <li>・常勤・代用支援員の増。</li> </ul>
11	支援員の数が足りなく、スペースも狭い為、スペースの確保と人数の確保をしてほしい。体調が悪くても、人数が足りないため、簡単に休むことができない。
12	東京・大阪などの大都市では、放課後児童会の支援員数が絶対的に不足しているため、「教職資格」や「子どもに関する仕事の経験年数」などの雇用条件が無く、どのような人でも応募しやすいと聞く。青森県でもそれに倣い、後から講習や研修で力をつけていけばよいと思う。実際、支援員が足りな過ぎて、有休があっても休めない現状だ。
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人数が多すぎて、場所の確保ができていない。狭い場所に押し込んでいるイメージです。もう少しゆとりが欲しい。学校の教室がいっぱいの時、空店舗や民家を借りて開設しているが、トイレが足りていない。手洗い場が足りない。エアコンが広さに合ってなく、夏休みなどは熱中症が心配など、環境も整えてほしい。</li> <li>・市が行っている事業なのに、雪かきにかなりの時間と体力を使っている。</li> <li>・支援員、代用支援員の不足も問題ありだ。</li> </ul>
14	子どもに関わる(放課後児童会の職員)人たちがキツキツで仕事をせず(経済的、時間的)、それによって子どもたちがいる環境が良くなると思う。
15	子どもの在籍数がどんどん増えているのに、それに伴う支援員数がなかなか増えないのが一番困っている。放課後児童会では、定年がないため、高齢者にとっては有りがたい仕事だが、高齢者は体力・能力がおとろえ、「助太刀」的立場。若い人の志望者を増やすため、若い人の待遇を、正規労働者並みに引き上げる等の待遇改善をしてほしい。事務仕事や教材研究のための時間が少なく、自宅ですること多いので、フルタイムで働く人もいてもよい。
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童支援員の資質向上</li> <li>・資格取得</li> <li>・人材の確保</li> <li>・待遇の改善</li> <li>・会計年度任用職員ではなく正社員</li> </ul>

17	年々、子どもを支援する支援員の年齢が高齢化しており、安全・安心に支援することが困難になっています。支援員の人数に対して入会する児童も増え、このままでは若い支援員に負担がかかり退職する支援員も多くなります。この現状を回避するため、人材育成に力を入れてほしいと願います。
18	各児童会での取り組みなども紹介、また、活動内容の情報共有、提供、交換できる機会を作してほしい。
19	・放課後児童会の短い時間の中で、制作や遊びで充実した気持ちを持たせてあげるためには。 ・友達同士、力を合わせて過ごす活動方法とは。 ・親の要望ばかり受けて、子どもの感情を満たしていないのでは。
20	・児童の活動する部屋が狭すぎるので、人数制限してほしい。又は、部屋数の確保をお願いしたい。 ・運動できる部屋がほしい。
21	活動場所が狭い。
22	利用人数が増えているのに受け入れる場所がない。人も足りない。環境が整っていない。
23	児童会を定期的に訪問して様子を見てほしい。専門の人を課に配置してほしい。子供が多すぎるので、定員を決めてほしい。
24	勉強が難しい、わからないと言う事を聞くので、放課後教室なので、教える場所なり、機会があったら良いと思います。
<b>③子どもの活動機会の充実(遊び場、居場所、交流の場、イベントなど)</b>	
1	天候に関わらず、子ども達が体を動かしながら学べる室内施設があったらいいと思います。
2	子どもたちが異年齢児で継続的に関われる場づくり。
3	・未満児と小学生と一緒に遊べる施設が欲しい(無料で)。 ・冬期間、遊べる施設が欲しい(無料で)。
4	交流の場をもっともっと作ったらいいと思います。
5	天候不良の時でも子どもを遊ばせる場(体を思いっきり使って遊べる遊具があるような場所、年齢別で遊べる)があると良いように思う。
6	・気になる子どものための落ちついて過ごせる居場所(空間)と対応できる人材を確保してほしい。 ・元気な子ども達のために運動(各種スポーツ)できる安全で広い場所がほしい。
7	不登校の相談が多くなりました。学校以外に集まれる場所等増えていくと子どもたちも子ども同士も話し合えるかと思っています。
8	子どもの居場所(とくに低学年用として)体を思いっきり動かせる運動可能な環境を確保していただきたい。長期休みの活動としてレクリエーションの内容をもっと幅広い分野で提供・照会してほしい。
9	数少ない子どもたちが学区をこえて互いに協力できる様なイベントが増えると良いと思います。
10	子どもの居場所をどんどん増やしてもらいたい。
11	部活動が強制的でなくなったため、入る子供達が減り、体を動かす事がない感じがします。様子を見ると、やっぱり運動して遊んでいる姿は楽しんで、笑顔がいいです。なのでそういう場所があると良いと思います。
12	冬時期、色々な年代の子どもが遊べる場所が本当に少ないです。どこか一つでも良いので、冬時期でもトイレを開けてくれるところはないのでしょうか？トイレがあって、雨風雪がしのげる建物があって、駐車場が無料の場所。合浦公園やわくわくランドなど。駐車場だけ除雪してもらって、あとは好きなだけ雪遊びが出来る！そんな場所を作って欲しいです。立派な施設を新しく作る必要はないです。駅前公園(商工会議所の裏)のトイレや、弘前のリンゴ公園のトイレは冬でも開いているようなので、やれないことはないと思うのですが…。もし今後新しく何か造るのであれば、子育て支援に力を入れている山形県は、年齢制限なく、無料で遊べる施設がいっぱいあります。そのような所もぜひ参考にさせていただきたいです。子育てに優しい地域になれば、移住する人も増えたり、出生率も増えたりして、人口も増えるのではないのでしょうか？
13	冬、4.5歳児が室内遊びできる場所が増えて欲しい。(有料でも可)岩手こどもの森(岩手県)すくすくーる(つがる市)のような施設など。今年度みたいに雪が少なく、公園は雪対策で締められており、ゲームセンターや家での遊びに限られてしまったため。



14	小さなお子さんがいるかたからよく聞くのは、遊び場所がないという意見です。函館の駅前にあるような、天気を気にせず遊べる室内の遊び場等、遊具の有り無し色々なパターンの遊び場があってもいいかな？と思います。
<b>④子育て家庭に関すること</b>	
1	家庭でできることは、できるだけ家庭で。学校、地域に頼りすぎない。
2	子供達が伸び伸び出来る環境をもっと整えてやって欲しい。
3	家庭でもっと子どもと向き合う時間をつくってほしいと思う。人に預けっぱなしにしないでほしい。親に余裕がない。←こうならない為の何か支援があればと思う。
4	いろんな支援がありますが、あくまで基本は、家庭であり、親が育てることを忘れないでほしい。
5	権利、権利と言うが、そればかりが先走って、家庭にしても子どもにしてもやるべき「義務」が果たされていないままになっているように感じる。そして、大変な所だけ「子育て支援」にまかされているように感じている。大切な所は何なのか、本当に必要な子育て支援なのかをちゃんと考えていただきたい。
<b>⑤子育てに関する講座や相談窓口の充実に関すること</b>	
1	私の子育てしている時とは色々と子育ての仕方も変わっていて自分でもどの様な対応をしたらいいのか考えることが多々あります。研修会など行う機会をふやしたり研修会の中味を具体的に伝えてほしい。
2	何か問題があった時直接電話などで相談できる場所があったらいいなと思います。
<b>⑥地域の活動(町会、子ども会、経済的支援など)に関すること</b>	
1	給食費無償化は、それはそれで良いですが、お金の事が先に立ってる感じがします。もっと町内会での子供と子育ての関わりがもっと深くなったらどうかと思います。
2	町会も高齢化しており、お手伝いくださる方の健康も心配です。この活動を通して地域が活性化すればいいなあとと思いながらやっておりますが、私も、いつまでやれるかーと思っております。
3	・30年前の子供会のように地域ぐるみで子育てを行うように現代に合わせた仕組みを実行していくべき。 ・人と人が疎遠となり、他人に関心がなくなってしまった結果、全てが単独で活動することになっている。地域が一つのグループとして活動することで助け合いや人材が活かされるのではないのでしょうか？
4	保護者を中心に、地域ボランティアの力も借りながら野球やドッジボール大会に向けて練習をしている。生徒指導的な問題が生じた時に、監督(保護者)やコーチ等の対応が難しい。子どもへの対応、親への対応等が難しくこじれてしまうこともあることが心配である。教師ではないので、こじれないようにするにはどうすればよいか、考えどころだ。
5	町会から助成金もあり、毎月1回~2回活動が出来て楽しい子ども会の行事ができています。廃品回収月1回、それもまた活動資金になって町会の皆さんには大変感謝しております。
6	破損した部品を製作する工作機械の資金の支援があれば助かります。
7	運営にあたり、資金が不足している。助成していただければ、より良い活動につながる。
8	・市民図書館より2か月に1度本の貸出をしていただいているので、助かっています。 ・作家さんと呼んでほしい
9	1番の課題は予算。計画には資金がつきもの。人や地域の好意には限りがあります。有効な施策はないものか？
10	施設、各家庭とも金銭面で困っている様子。また人手が足りない。
11	・圧倒的に人員が足りない ・支援、加算額に対して、ルールが厳しすぎる
12	子供会という名前が近年では重いような気がします。もっとフリーで気軽に参加できる空気を作りたい。
13	地域の文化祭や学校行事への参加がコロナ前のようにできることを強く願っている。子どもたちのため以上にお年寄りへの激励となっていると思うからです。
14	子ども食堂とかもやりたいと思っているのだが、…(その時、子・親と会話したい！)

15	昨今の子ども、家庭を取り巻く問題が多様化、複雑化していることを考えれば安易に受けられる役割りではないと考えるが、現実はなりてがなく役職を充てているケースが多いようだ。時代にあった役割、名称そしてステータス向上を図らないと人材難は目に見えている。子どもと家庭を援助する活動すら危うい。
16	クラブチームへの資金援助
17	活動資金の援助
18	有資格者が集まらない。
19	地域の人とふれ合う機会が中々なくなっているのので、地域のお祭りやイベント、学校行事への参加等で、子育て世代ではない地域の方々との繋がりを作って行きたいと思っています。そのための補助金等出していただきたいです。
<b>⑦行政・教育に関する意見・要望</b>	
1	図書交換の際、ただ本を置いていくのではなく、現場の声を聞くなど、気にかけて欲しい。保護者の言う事ばかりを聞くのではなく、現場の声を聞いて欲しい。
2	全国大会等の上位大会への参加に対する補助。
3	児童・生徒たちの笑顔あふれる地域社会の環境づくりを直しく願います。
4	これだけのアンケートに定形外の郵便代もつたいないと思う。税金を大切に。
5	大変失礼ですが記述させていただきます。今回のアンケートについて、平成28年～令和5年で何がまとまって何が課題として残ったのか、その課題解決のための必要性がそのアンケートなのか、ということ。アンケートをとっても大変大事であるが、主催者の方である程度答えを持っているのかと、先のことまでを予想してのアンケートをとるといいかな。
6	美談ではなく、現実と向き合った施策。広く浅くではなく、本当に困っている人(求めている人)へ。
7	・障害者計画及び障害福祉計画、障害弱者避難計画の充実と施策のさらなる充実と施策の実現。 ・各計画に対しての現場の意見の吸い上げをお願いしたい。
8	健診で気になるお子さんがいたら「様子見ましょう」ではなく早期に専門機関へつなげるか具体的な助言を保護者さんに伝えてほしいです。
9	市営バスを義務教育まで無料化。部活動、塾などでの異動する時に親の送り迎えが少なくなるから。
10	乳幼児期は、保護者と子どもがお互いの肌のぬくもりを感じながら語りかけや読み聞かせをすることは、幸福感を通じて豊かな心を育みます。小・中・高時代は充実した読書活動をし、人格形成を深める時期ですが、現代は忙しさに駆り立てられています。今の時代にこそ、読書推進が必要と感じますが、社会的にも行政・教育場面においてもトーンダウンしていませんか？
11	このアンケートの趣旨が分からない。この内容で何に繋がるのか。やるならもっときちんと意見を聞く機会を作るべき。
12	親の収入格差による児童の貧困を無くすよう手当を充実させ、学校外(塾や習い事など)での体験ができる機会を平等に得ることができるようにしてほしい。
13	共働きが普通の世の中で、企画イベントは土・日がほとんど。(研修・講演会も)でも土・日仕事している親は参加できない。バランスを考えて平日・休の2回企画するとか、親にもどんどん興味のあることに参加してもらって、子育てを楽しむ場を設けてほしい。子どもの貧困により参加できない子がいないように、主催者が、公共で免除できるものを多くしてほしい。
14	災害時にはすべての要配慮者に、そしてマイノリティである母子にきちんと支援が行き届くよう多職種や関係団体と連携協働を強化していただきたいと存じます。
15	親子で参加出来ることを企画して、一緒に過ごすことの大切さを強調してほしい。
16	以前より世間の理解は進んだように思われますが、結局大した国や行政の施策が効果が無いために、少子化に歯止めがかからなくて当然かと思えます。子育て支援だけでは職業にならないのが日本の現状です。(お年寄りには、ヘルパーさんという職が確立されていますが)青森市のファミサポ料金も改善した方が良くと思います。
17	共働き家庭の増加、地域ボランティアの高齢化で今までのようなPTA活動や学校ボランティア活動は今後難しくなるのではと思います。スクールサポーターを(有償で)増員する等の必要が出てくるのではないかと思います。

18	潜在的な虐待がまだまだ多く有ると思われます。虐待の早期発見のための仕組みづくりが喫緊の課題であると思います。
19	教育に不安がない世の中になって欲しいと思います。
20	いじめ撲滅に取り組んで欲しい。
21	1人親、非課税世帯などの制限の無い子育て支援を希望。
22	職員の責任感が欠落している為、青森市の子育て支援課にはあまり期待をしていない。
23	部活動の再開
24	青森市のコンパクトシティ政策等により、一部地域(郊外)では、自由に家を建てたり、アパートを建設したりすることができない状況になっている。それによって児童・生徒数が極端に少なくなっているため、思うような教育活動ができなくなっていることが一番の課題である。このような差別的な政策は、場合によっては憲法違反と捉えられても仕方なく、一刻も早くやめていただかないと、ますます人口減に拍車をかけることに繋がりがかねない。郊外の安い土地に家をどんどん建てられることは、教育環境的にも大変好条件であり、マンモスの人数が増えている一部の学校を分散化させることにもつながり、今後、重要な要素になってくることだと思われるため、一日も早く、差別的な政策の撤廃を求めるものである。
25	給食のメニューを拝見するがぎり、子ども達の体づくりに大切な時期にもかかわらず、添加物が多い食材が使われていたり、まだまだ安心安全なメニューとなっていないように感じます。経費の問題等もあるかと思いますが、食の安心安全について今一度真剣に議論していただければ幸いです。
26	行政も含めた環境づくりの観点で地域的に差があるため人口が増えている地域にはそれに適した環境を与える、造ること。人口減少という波にあわせなければならないこと、前例がないことへの地域的な抵抗感が多く大きい視野でみて対応を柔軟にしてほしい。
27	子供が小さい間に利用できる家事代行&片付けお手伝いサービスがほしい。子供が産まれると環境が変わって物や家具が大きく変化するけれど、片付けができない。休職でお金もかけられない。民間のサービスは高すぎて使えない。ファミサポの方にはお片付けは頼めないの、ファミサポの業務を拡大してほしい。(ただ、ファミサポはボランティア扱いなので、公費で最低時給分位は出る様にしてあげてほしい。)
28	きょうだい児の支援も考えて欲しい。
29	学校課題・地域課題の対応のために、コミュニティスクール活動のより一層の活性化の為に人的・予算的な支援を 市長部局・教育委員会と連携して対応を行ってほしい。
30	園入園時に、多胎児加点があると嬉しい。
31	保育料無償化、日祝日も開園してくれる保育園が増えてほしい。所得や家族構成にとらわれず大学の学費を無償にしてほしい。
32	青森県は賃金も安いのに、冬になれば灯油代がかかったり、車社会なのでガソリン代がかかったりしています。学校の制服も日本一高いと言われていています。医療費や小学校の給食費無料など支援は広がっているのはありがたいですが、中高生、大学ともなれば、出費の金額のケタがまるで違ってきます。かといって、貯金をする余裕もないので、今は我が子は小学生ですが、将来不安しかありません。
33	色んな子供がいて、色んな親がいるので、様々な方向からの支援がたくさんあればいいと考えます。
34	物価高騰もあり、生活、子育てにかかる資金がむずかしい。子育て世帯に柔軟な対応をしてほしい。
35	子育て支援で金銭面や預かって面倒を見るのは、現実的で行政にとっても親にとっても一時は助かるし、楽だと思いが、長い目で見れば疑問を感じる。将来、自立し、国を支える人々の人間形成の為に「育ち」の時期は親や家族の愛情を受けて関わるのが大切だと思っている。子育てに時間を取らない(取れない)人への支援よりも、子育てさせてあげる時間を国や地方が保証するべきだと思う。親の子育て離れは応援できない。

36	働く母(父も)を支えることを目的として、 ・病児保育(受け入れる年齢を拡げる)増設 ・病児保育をみてくれるサポーターの増員
⑧認定こども園、幼稚園等の拡充・整備に関すること	
1	ニーズに合った保育所や児童発達支援の設置がしやすい制度にしてもらいたい。医療的ケア児、重症心身障害児を対象にした小規模保育園の設置について市へ相談させていただきましたが、現在は保育園を増やさないとのことでした。対象が定型発達の子どものしか考えていない所が非常に残念です。
⑨行政・地域・関係機関との連携に関すること	
1	部活だと学校は協力して、クラブだと関係なしではそもそも部活動として、運営していた方が家庭の負担が少なくなるのでは。学校の責任を民間に投げただけで、逆に子供にとって悪い環境となっているのでは？官民一体とはなっていない。
2	子どもの多種多様性の問題について関係機関、関係団体がいくつもありながら効果をあげていないような気がする。関係団体、関係機関のたてとよこのつながりをもっと深い太い関係が必要かと思う。
3	福祉サービスを受け付けない学校や保育園が多い。どうして？プライド？管轄する省が違うから？連携は誰のため？子供のためだよ。
4	個人情報・守秘義務があるために、家庭・学校・地域での情報共有に時間がかかる。早目に対応・支援できるようになればと思う
5	学校との連携をもっと密に行いたい。
6	放課後等デイでは、保護者からの要望がないと家庭内まで踏み込む事が難しい。それぞれに合った療育を進めるうえで、保護者支援も重要となり、家庭、学校、デイなどの連携がスムーズにいく事で、より良い療育が提供できると思われる。
7	小学校との連携を積極的に行えるようにしていただきたいです。
8	連携する為の情報、機会をさらに多くしてほしい。
9	・障害児を持つ親の会と市が連携した活動を検討して欲しい。 ・障害のある子どもの養育に悩んでいる保護者の方に対して、当会会員の子育ての先輩としての経験を活用して欲しい。
⑩障がいのあるかたへの支援に関すること	
1	支援の子は支援の子専用の放課後サービスで扱うものとした方がよい。放課後児童会で支援の子どもを見るのに限界がある。
2	・支援の子に対して、きちんと面談してほしい。 ・誰でも、かれでも、児童会に入会させないでほしい。
3	・支援児や気になる子に対して親がもっと気軽に専門の機関に相談できる体制を整えて欲しい。 ・支援児の受け入れは児童会ではなく専門機関に託したい。人数が多く支援児に手がかかると、集団生活がままならなくなる。
4	個々の支援児童に対する対応や関わり方が困難を期している。
5	専門の知識(特別な配慮を必要とする子への対応等)を有した支援員が少ない。
6	障害を持っている家庭を支援してほしいと思います。例として、発達障害の子どもを育てている、お母さんを孤立させない心配りがほしいと思います。発達障害の子どもたちを理解し、寄り添い、普通の子どもたちと学ぶ、遊び、環境を望んでいます。
7	特別支援学級の児童の対応が難しく、支援員が不足している。
8	支援を必要とする児童が増えているが、それに対する対応策がない。

9	放課後等デイサービスに関してですが、ここ10年で事業所の数がかかなり増えました。サービスを利用するお子さんも増えた一方で、サービスの質にばらつきがあり、業界全体としてより支援力の向上が求められていると思います。また、事業所の数が増えていても、サービスを思うように利用出来ていないお子さんもまだいます。重度のお子さんだったり、受け入れの余地があっても学校への送迎が出来ないために利用出来ないケースも多くあると思います。デイサービスでカバー出来る送迎範囲(地理的、学校数)は限られており、送迎サービス(外出介護事業)も利用出来る件数に限りがあります。せめて、学校からデイサービス事業所までの送迎だけでも対応出来る事業所の数が増えてくれたらというも考えています。
10	いつか、障がい者も健常者も関係なく、お互いを思いやり相手の立場も考えられるような優しい社会になればいいな・と思います。
<b>⑪少子化対策・子どもを生き育てやすい環境に関すること</b>	
1	子育てや子どもの育ち、生まれる…生めるかは本当に急務なことだと思う。あと2年したら、年間出生数1000人切りますよ。そしたら、あとどう街を持続できるのか、本当に考えないと消めつ都市化が早まるだけだと思う。
2	少子化対策は、いま現在の子供達より、結婚する人達を増やすことを望む。家庭をもつことのすばらしさを若い世代に伝える。
3	どうしたら子供が増えるんだろう。少子化の波をまともにうけてます。
4	子どもの年齢や親の就労状況、親族の介護状況などに応じた多様な支援が必要です。保育や教育、医療、福祉の視点で、子育て支援の選択肢を増やして欲しいです。1人目はもちろん、2人目、3人目、何人でもすべての子育て家庭が安心して子育てできるように支援および質向上を願います。
5	子どもを預ける必要が出来た時、すぐ預かってくれる社会の体制。
6	主任児童委員となり、いろいろな会議に参加します。学校は学校で今の子どもたちに寄り添いながらきめ細やかないろいろな取り組みをしています。地域はその活動を支えたいと思っています。しかし、当事者である子ども、親、家庭がとても忙しい状況にあるように思います。社会の歯車がクルクル大急ぎに回っているようです。皆、急かされています。水車のように水がきたら回ではなく回されています。もっと親(男女共に)に余裕があったらと思います。就業時間を減らしながらもきちんと稼げる社会。そういう、時間的、物理的余裕のある社会をこれから作るのは難しいことでしょうか？ あれもしましたこれもあります。〇〇員を作りました。増やしました等という姑息な施策ではもうどうにもならない状況に来ていると思います。
<b>⑫その他</b>	
1	ネット、SNSがありプラスしてコロナ禍の影響もあり、孤立・孤独家庭が生み出されている。子育て支援している、したい側と支援を受ける側との価値観の違いも感じられる。それは、支援できる世代の高齢化で、常識の価値観に隔たりが出来ているのではないかと感じている。さて、子どもの未来を今すぐにでも応援したいチームなのであくまでも私のイメージですが、青森市には、このすばらしい環境に共鳴している人がいます。新しい若い人材、若年老年に柔軟に適応できる人材を見つけて地域の相談役に育てていただければ有り難いです。
2	・環境を整える ・指導する人員の増加
3	現場事情を把握して欲しい。
4	クローズドブック使用の学習内容が増えている。Wi-Fiのない状況に、少しずつ支障を感じてきた。学校外の施設でも、環境が整えられると良いと思う。
5	小学校の部活がここ数年でクラブ化に替わっています。スポーツをやりたいが、父兄の送迎ができないので、活動できない子がいます。中学校もいずれクラブ化が主流となり、中体連も中学校代表じゃなく、何とかクラブ対抗となるのでしょうかね。今年の絵画、版画とかの入選した子達も何とか絵画教室が多かったように思いました。中学校、小学校とかも載らない時代になっていくのでしょうか。
6	放課後子ども教室も廃止、先生方も部活指導無しで子供達が遊びや、社会的教育が少なくなり心配しています。
7	子育てしやすい様に国ももっと議論ばかりでなく、行動に出して欲しい。
8	設備の充実